

1
△ 問一
6 / 7

わたしは 貴い 役職に就いている人間なので、
そのような 仕事 は 適 していない、ということ。

「役」の言い換えはできているので、〈低級な仕事〉であると伝わるように工夫しよう。 △-1

2
△ 問二
9 / 18
3 / 7

この 私 が どんな 人物なのかを お話し したい。

人柄なども含むような表現になっていく。〈身分〉とより具体化できるとさらによい。 △-2

「承る」は「聞く」の謙譲語なので、〈お聞きしたい〉と訳出しよう。 △-2

5 / 5
△ 問三
特別な事情は ござ いませぬ。

1 / 6
△ 問四
4
「篤言が」
「いつもの 格好で 練り歩いていく。」

「異様」であるのは「異様」は〈普通とは違ってある様子。変な姿。風変わり〉の意で訳出する。 △-3
「ける」は過去の助動詞なので、〈練り歩いた〉と訳出する。 △-1
傍線部は文中にあるので、句点は不要。 △-1



3
5/7

問三

△ (i) "

格別にすぐれた様子だと、人々に言われたこと。

説明問題なので、文末に句点が必要。

△ -1

「わりなき者」として、
〈武正〉をpushさえよう。

△ -1

文脈に合わせて、「ほめた」という内容にするときらによい。㊦

4
7/8

△ (ii) "

忠恒という随身が立派な武生とは似ていなかったこと。

「正」が正しい。
誤字。 △ -1

ここは〈正反対〉である点を明確にした方がよい。㊦

5
6/10

問四

△

身分の高い人も驚かせ慌てさせてしまう大胆で威勢の強い人物。

二つのエピソードに共通する事柄として、
〈弁舌で〉相手を〈やり込めている〉点もpushさえよう。

△ -4

〈合格への一手〉

〈「荒」が誉め言葉である〉という、この設問で一番大切な点を理解できている。

あとはどこを変えればよりよくなるのか、添削答案を見ながら復習しよう。